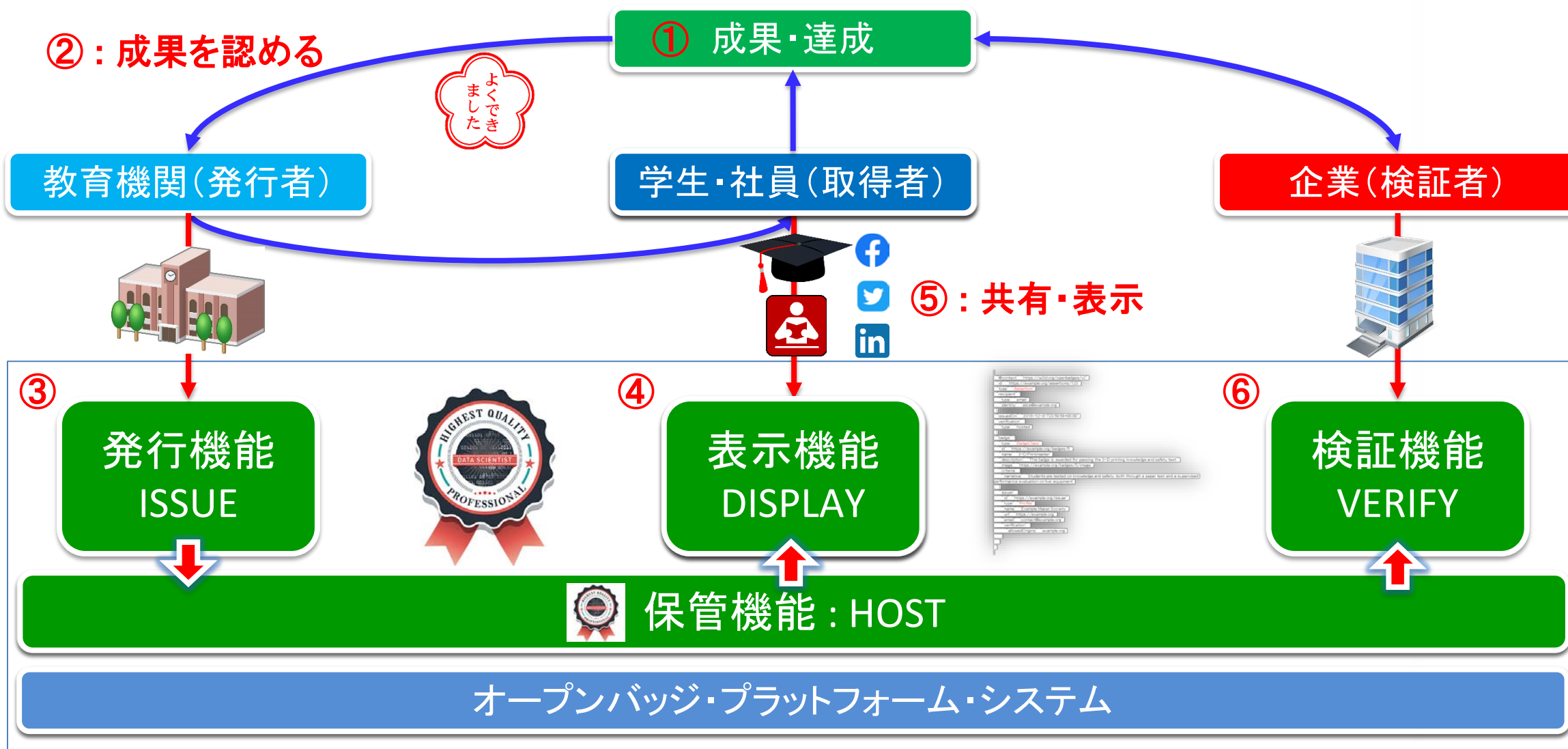


LMSとバッジ発行システムの連携・自動化: BlockCertsを中核とするデジタルエコシステム

2020年6月30日(火) 14:54~15:06

IMS Japan デジタルバッジ関連標準国内導入検討部会 副主査
デジタルナレッジ教育テクノロジー研究所 シニア・フェロー
秦 隆博

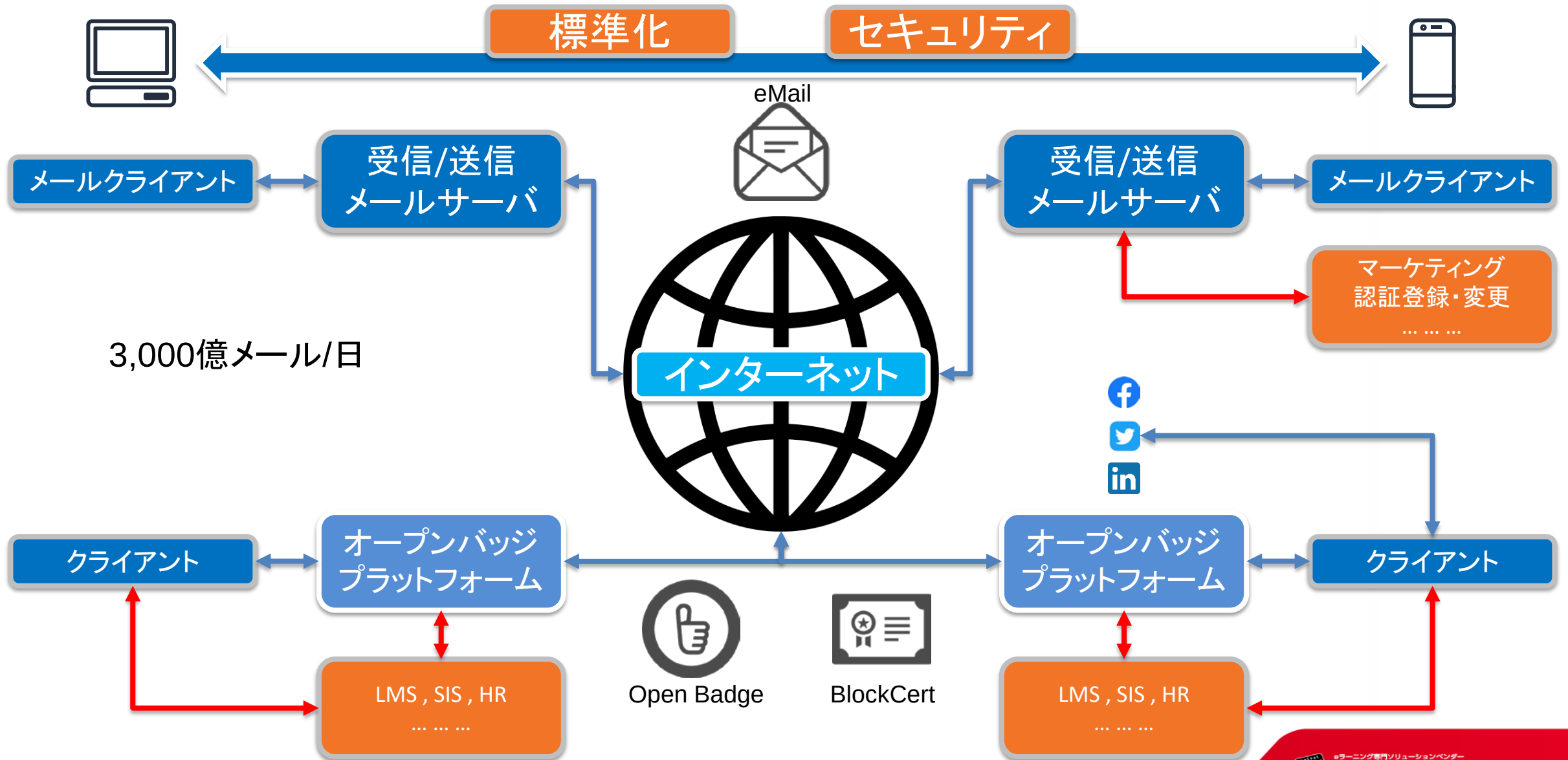
Mail: t-hata@digital-knowledge.co.jp

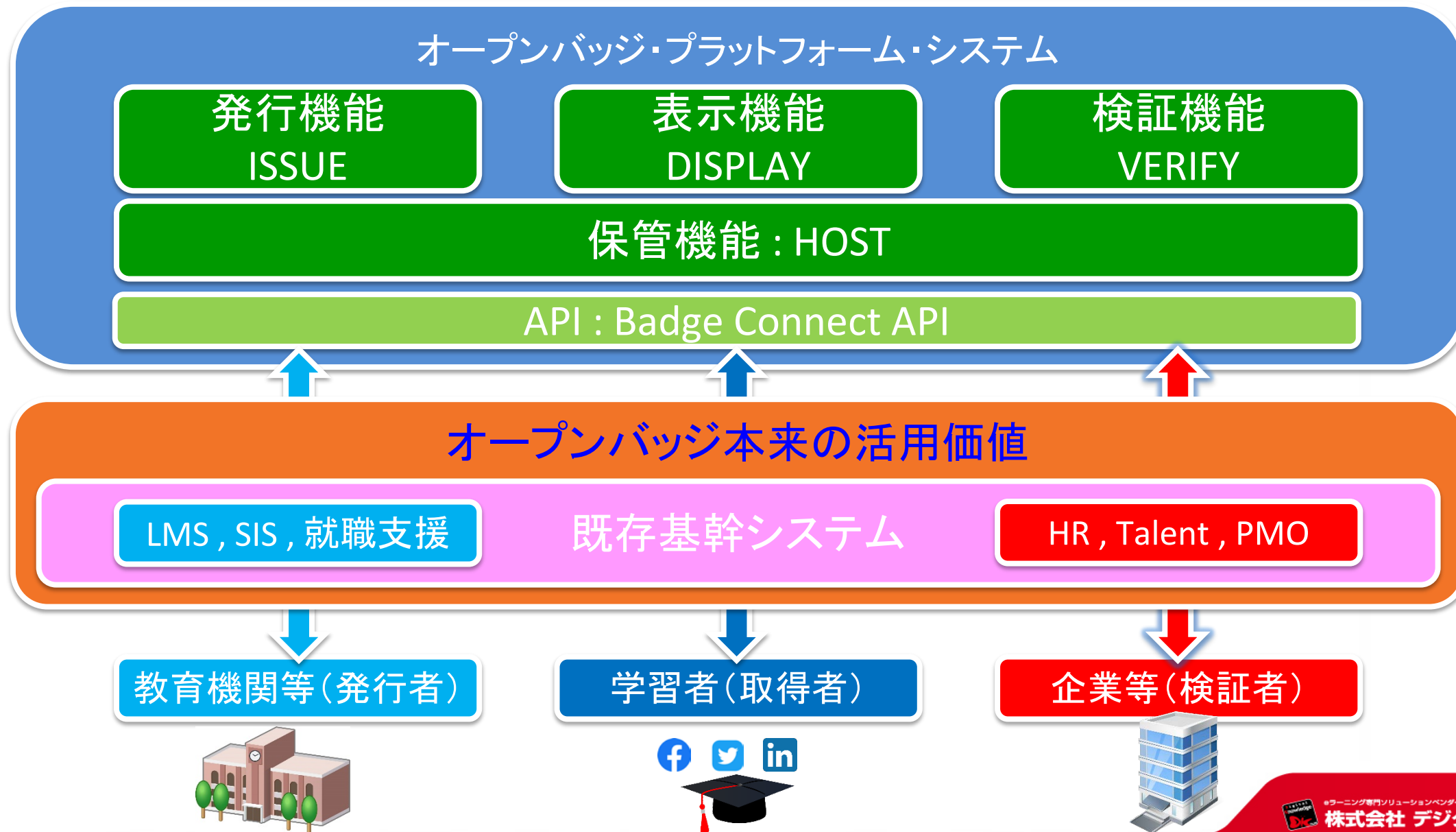


- デジタルバッジは「学習-人財コミュニケーションの道具です」
 - デジタルバッジ・システム(オープンバッジ・プラットフォーム)は、単体でも機能しますが、様々なシステムと連携したり統合したりすることにより、より活用することができます。
 - 事例：LMS(学習管理システム)とバッジ機能の統合
 - 学習コース修了からバッジ発行の自動化
 - 利用場面は、初中等教育から高等教育、社会人教育と目的に応じて幅広く・異なった利用方法があります。
 - オープンバッジをよりセキュアでプライバシーを守る事が必要な場合は、ブロックサーツ型のオープンバッジが利用されます。
 - 標準化された道具は、広範囲に利用する事で価値がより高まります。
 - オープンバッジが外にあるのではなく内にあるユースケースが普及拡大活用のポイント
- Eメール(コミュニケーション・ツール)による比喻
 - 仕事で使っている主なコミュニケーション手段の第1位は「メール」(96.50%)

一般社団法人日本ビジネスメール協会(2018年調査)

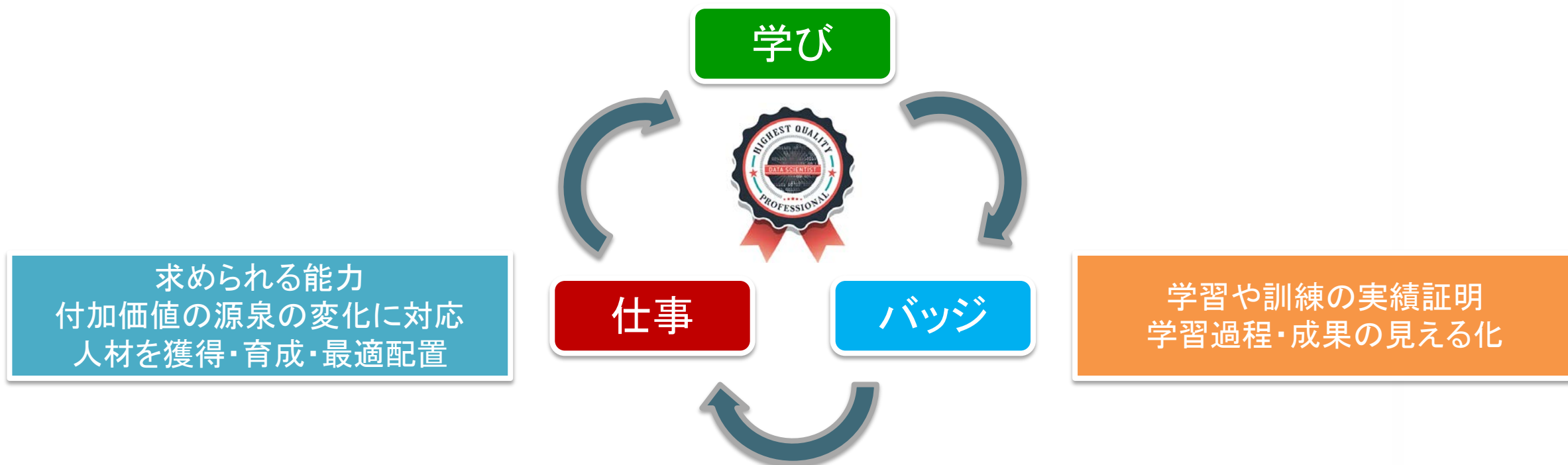
デジタル変革: コミュニケーションツール例→eメール比喻 4





能力・スキルの継続的学習

学びは仕事の生産性と品質を向上させ、自己実現の機会を拡げる



プロフェッショナルの継続的な学びによる専門職コミュニティの持続可能な発展
デジタル・クレデンシャル(バッジ)による、「デジタルエコシステム」(学び・バッジ・仕事)の最適化

放送大学

Search for... 検索

受講期間中 受講期間修了

絞り込みなし

demo教科

修了証 デジタルバッジ

2019.01.01 ~ 2025.01.01

ZOOM収録映像

修了証 デジタルバッジ

2019.01.01 ~ 2025.01.01

修了証を見るための教科

修了証 デジタルバッジ

2019.01.01 ~ 2025.01.01

発行機能
ISSUE

保管機能 : HOST

KD - LMS

放送大学

ホーム

修了証を見るための教科

小学校
プログラミング教育
導入編

放送大学

小学校 プログラミング教育 導入編

新学習指導要領におけるプログラミング教育の考え方や、先進的な取組を習得します。
この文章はダミーです。文字の大きさ、量、字間、行間等を確認するために入れています。この文章はダミーです。文字の大きさ、量、字間、行間等を確認するために入れています。この文章はダミーです。文字の大きさ、量、字間、行間等を確認するために入れています。この文章はダミーです。文字の大きさ、量、字間、行間等を確認するために入れています。（200文字）

発行日 2020/04/12
発行者 放送大学
<https://www.ouj.ac.jp/>

リンクをコピー バッジダウンロード

バッジ所有者情報

メールアドレス
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx@ouj.ac.jp
氏名
デジタル太郎

獲得基準

オンライン講座による小テスト等により理解を深め、オンラインでの修了試験に合格する必要があります。

クラスインフォメーション 4
メンタリングボックス
よくある質問

表示機能
DISPLAY

Open Badges

BlockCerts



証明証

氏名/email

放送大学キャリアアップ支援認証制度
プログラミング教育プランにおける
下記の講座につき修了したものであることを証す

記

講座名：Scratchプログラミング指導法



令和2年6月1日



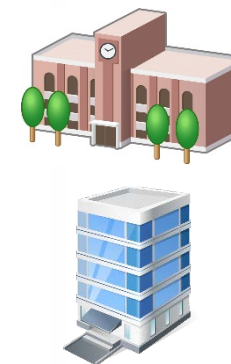
放送大学長 來生 新

Kisugi Shin

放送大学

デジタル画像

標準化データ



学習者

直感的

携帯性
可搬性

自動化

社会

学習 - 人財 コミュニケーション・ツール